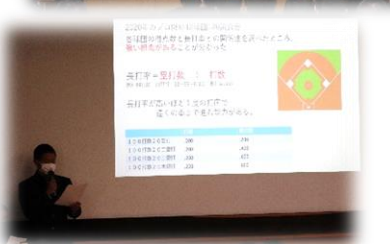
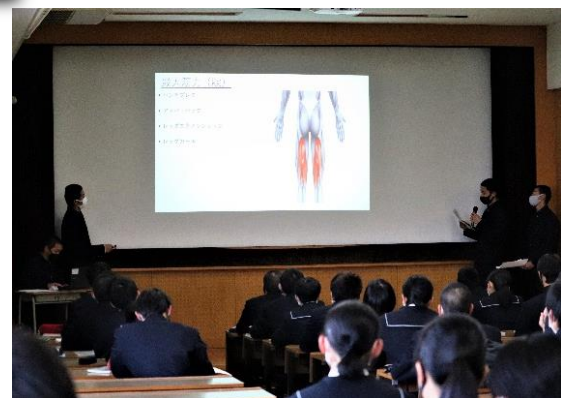


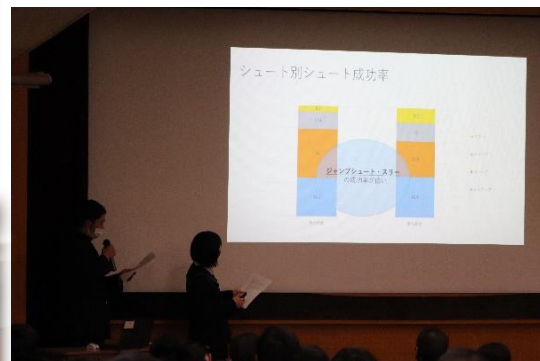
令和2年度 乙訓高等学校スポーツ健康科学科研究発表会

令和3年2月9日、10日にスポーツ健康科学科2年生の研究発表会を行いました。スポーツ健康科学科1期生から取り組まれてきたこの活動も今回で10年目になります。スポーツ健康科学科の1年生や先生方の前に立ち、時間をかけて熱心に取り組んできたものを発表しました。京都府教育委員会保健体育課から森川喜宏様、立命館大学教授栗原俊之様、同志社大学教授上林清孝様にご来賓いただき、講評、そして刺激のあるお言葉を頂戴しました。

【1日目】

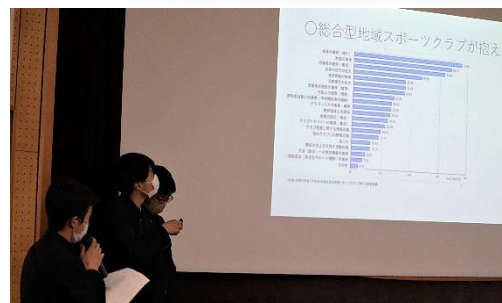
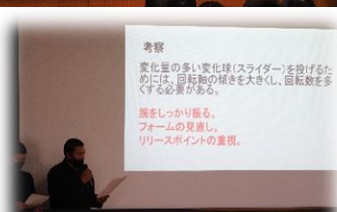
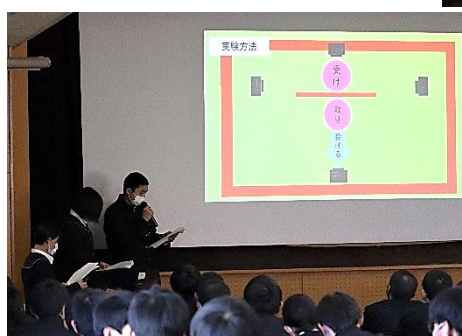
- (1)「スタート時の目線による100m1次加速区間のタイムへの影響」
西口 竜仁・小早川 拓海・壺坂 仁乃・田中 亜周・福本 陸晴
- (2)「長距離走におけるペースの変化と動きとの関係性」
桂 蓮・山本 悠奈
- (3)「フェンシング競技における近距離で突くための方法」
竹山 柚葉・高橋 佑太・神山 侑奈
- (4)「野球の試合における得点数の向上」
子富呂 匠悟・菊地 浩輔・西川 聖里・慶木 孝多
- (5)「野球の長打率に基づく失点の要因」
谷口 音響・玉垣 哉多・中田 響・山本 武拓
- (6)「バスケットボール競技における勝率とシュート成功率の因果関係」
橋本 海音・坪井 咲里





【2日目】

- (1)「野球における変化球の変化量と回転軸・回転数の連動性」
堀場 寛喜・山田 悠誠・松尾 一徹・田中 響己・北見 隆佑
- (2)「自律訓練法による競技パフォーマンスへの効果」
天野 紗・平野 心結・紺野 優華・村井 美友
- (3)「バドミントン競技におけるレシーブ返球率と動体視力」
山崎 晃生・喜多 亮・笹井 力斗・永野 由莉菜・古石 舶人
- (4)「総合型地域スポーツクラブの定着に向けて」
松村 拓海・榊井 御空・小倉 利之
- (5)「柔道競技における崩しの必要性」
足利 将彰・福田 よい・増山 一天



自分たちで疑問を提示し研究方法を考え実践する、そこから出た結果をもとに考察し自分の競技や未来に生かしていく。この期間を通して、“なぜ？どうして？”と考えることをやめないこと、最終的な答えを自らの力で見つけることの大切さを学ぶことができました。そしてグループでの取り組みにより仲間同士で更に深め合うことの面白さを感じることでできた生徒が多く、実りのある表情が伺えました。“Don't stop thinking.”この言葉を胸に、益々成長し活躍していきましょう！